

I. 基本介護技術の評価

1. 入浴介助

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率(%)				通過率(%) (未実施を除く)				「A」となった被評価者の割合 (未実施を除く)					アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考	
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4				
1		入浴前の確認ができる	2・3	現認 (必要に応じて被評価者へのヒアリング)	12.7	6.8	10.1	38.3	80.3	73.4	84.5	84.8	62.1	71.1	80.6	88.0	0.0	○バイタルサインの測定は看護師がやっているため評価できない。	1 入浴前の確認ができる	○通過率は8割前後と高いが、重要項目として残してはどうか(多義的と誤解されないように手段は例示であることを明確化)。	
					13.6	9.7	8.7	38.3	77.8	77.4	77.9	78.8	57.6	70.0	79.5	84.3	0.0	○バイタルサインの測定は看護師がやっているため評価できない。	②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。		
7	一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる(一部介助、全介助含)		2・3	現認	33.6	41.8	30.3	34.9	64.7	59.8	60.7	80.3	46.5	51.2	66.9	71.8	0.0		①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	○訪問介護の場合に評価しやすいよう、「バスタオル」を追加。
					28.5	39.3	25.0	33.9	83.7	86.1	85.3	68.1	77.8	76.5	86.6	86.3	0.0		②スクリーン等を使い、プライバシーに配慮したか。	②スクリーンやバスタオルを使い、プライバシーに配慮したか。	
					34.3	43.8	28.8	46.2	90.5	92.0	95.3	80.7	77.6	82.8	94.9	94.1	0.0	○片麻痺=前開きの衣服を着るとは限らない。	③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。		
					34.2	43.8	28.8	46.2	89.8	91.2	95.3	80.7	76.0	82.8	94.9	93.1	0.0	○片麻痺=前開きの衣服を着るとは限らない。	④前開き衣類の着衣の際に、患側から健側の順番で行ったか。		
					30.8	45.3	26.0	33.9	73.6	68.2	69.5	77.8	58.8	60.0	78.6	79.5	0.0		⑤④の場合、ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	
					27.2	40.3	25.0	33.0	74.9	71.7	67.3	89.0	60.7	57.6	83.5	80.4	0.0		⑥しわやたるみがないか確認したか。	⑤しわやたるみがないか確認したか。	
8	全介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる		2・3	現認	34.4	26.5	30.9	61.6	61.8	58.3	56.0	66.7	50.0	52.4	61.8	68.1	0.0	○「健側」が理解できていれば、一部介助と一つにできるのではないか。 ○全介助の方は訪問介護で入浴されることはあまりない(訪問入浴)。	—	○相関が高いことを踏まえ整理することとし、順に評価しやすいよう「脱衣」を存置。	
					27.6	17.9	28.4	59.3	85.6	84.5	89.9	57.1	78.3	79.3	88.5	88.2	0.0		—		
					27.2	18.0	21.6	62.6	90.2	92.3	93.9	75.7	77.1	86.3	93.7	92.6	0.0	○全介助=かぶりの衣服を着るとは限らない。	—		
					27.2	18.0	22.1	62.6	91.0	92.9	95.1	75.7	72.9	86.3	95.1	94.4	0.0	○全介助=かぶりの衣服を着るとは限らない。	—		
					24.6	16.8	22.2	57.0	78.7	77.3	74.2	83.8	63.0	67.0	86.3	82.8	0.0		—		
																		—			
9	洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)		2・3	現認	23.7	25.5	21.6	44.8	62.4	56.6	63.2	67.2	50.0	50.0	66.2	68.0	0.0	○一般浴が想定されているが、設備上やっていない。個浴がないため、チェックできない項目があった。⇒チェック項目として残した方がよいのではないか。 ○お湯、シャワーの温度確認を加えてはどうか。	3 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	○相関が高いことを踏まえ整理することとし、順に評価しやすいよう「浴槽に入る」を存置。	
					46.9	51.5	42.8	66.0	73.6	73.7	78.2	58.8	55.8	66.2	74.0	81.5	0.0	○寝たきりで手が動かせない場合はどうしたらよいか。	①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗つもらつたか。		
					47.2	51.5	42.3	66.0	74.3	71.7	77.5	64.7	59.1	66.2	75.0	81.8	0.0	○片麻痺のある方ばかりではない。 ○「患足をもう一方の手で介助して」は多様なケースに対応できない。	②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。		
					36.0	19.0	41.3	83.0	87.1	86.7	90.2	41.2	72.9	80.9	90.4	91.3	0.0	○片麻痺のある方ばかりではない。 ○「片手をしつかり脇に回し」は多様なケースに対応できない。	—		
					19.7	19.0	17.9	40.0	78.9	76.5	80.0	85.7	66.1	77.0	85.0	78.8	0.0	③【特養・老健のみ】簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。	○訪問介護では想定されないことを踏まえ、施設のみ評価。		
																		④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。			
12	清拭ができる		2・3	現認	53.5	50.0	59.6	49.5	75.5	72.5	81.0	82.7	41.4	76.7	76.7	81.2	0.0		4 清拭ができる		
					53.4	50.0	59.6	48.5	76.8	78.4	78.6	75.5	48.3	73.8	76.0	84.8	0.0	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリングによって体調確認を行い、清拭の可否について確認したか。 ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた清拭方法が選択できたか。 ③スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング、医療職の指示によって体調確認を行い、清拭の可否について確認したか。		
					53.4	49.5	59.6	49.5	79.8	88.3	79.8	61.5	58.6	80.3	81.7	82.6	0.0	○「清拭方法」にそこまで種類はないのではないか。	—		
					55.2	52.9	61.5	50.5	69.4	76.0	62.5	70.6	38.5	62.7	71.3	77.2	0.0	②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。		

I. 基本介護技術の評価

2. 食事介助

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となった被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考		
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4				
1	くる 食事前の準備を行うことができる																				
		① 声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	2 3	現認	12.4	3.4	9.1	47.6	90.6	92.9	91.5	77.8	75.4	88.4	92.0	94.2	0.0	○声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	○小項目2~4をくくると、チェック項目が7つになるため、小項目1~3をくくる。	
		② 嘔下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。			27.3	14.1	21.2	69.9	92.4	93.2	97.0	71.0	80.8	91.0	94.7	94.1	0.0	○すでに栄養課で準備されていることが多い。⇒最終チェックが必要なのでないか。	②嘔下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。		
		③ 禁忌食の確認をしたか。			24.6	19.5	18.8	50.5	72.7	76.4	65.7	66.7	53.2	65.2	78.8	76.0	0.0	○すでに栄養課で準備されていることが多い。⇒最終チェックが必要なのでないか。	③禁忌食の確認をしたか。		
		④ 飲み込むことができる食べ物の形態を確認したか。			15.6	8.8	10.6	48.5	84.0	88.8	80.6	69.8	67.8	75.2	85.6	91.0	0.0	○すでに栄養課で準備されていることが多い。⇒最終チェックが必要なのでないか。	④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。		
2	座位で食事をする際の姿勢の介助ができる																				
	① 体幹の傾きはないか、足底が床についているか、椅子に深く腰を掛けお尻が安定して座っているかなど座位の安定を確認したか。	2 3	現認		14.5	7.8	10.1	50.5	77.4	79.4	74.3	74.5	55.9	66.4	81.3	85.2	0.0	○すでに栄養課で準備されていることが多い。⇒最終チェックが必要なのでないか。	⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。	○チェック項目の順番修正。	
	② 頸が引けている状態で食事が取れるようにしたか。				15.1	6.8	10.6	49.5	80.6	84.8	78.0	71.2	51.8	71.7	84.7	88.5	0.0	○頸が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	⑥頸が引けている状態で食事が取れるようにしたか。		
3	寝たままで食事をする際の姿勢の介助ができる																				
	① ベッドをギヤッチャップし、食べやすい座位の位置や安定(体幹の傾きはないか)を確認したか。② 0.93	2 3	現認		60.4	54.3	62.0	71.7	81.5	80.2	89.9	60.7	59.1	74.1	79.7	90.3	0.0	○食事の量の記録、水分量の記録は必要ではないか。	一	○チェック項目の順番修正。	
	② 利用者の頭部が前傾姿勢になるように枕やクッションで調整したか。				59.6	53.5	61.1	71.7	76.8	77.2	80.2	53.6	50.0	68.9	75.6	86.2	0.0	○利用者に合った机や椅子が使用できているかは必要ではないか。	一		
4	食事介助ができる																				
	① 食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	くる ③ ④ 0.86	現認		17.2	8.8	15.4	54.4	63.0	59.4	60.2	68.1	35.6	60.2	62.6	70.3	0.0	○食事の量の記録、水分量の記録は必要ではないか。	② 食事介助ができる	○チェック項目の順番修正。	
	② 多すぎる量を一度に口に入れなかつたか。④ 0.89				20.9	9.8	15.9	57.3	86.9	88.1	88.0	72.7	69.0	85.6	89.9	89.8	0.0	○利用者に合った机や椅子が使用できているかは必要ではないか。	①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行つたか。		
	③ 利用者と同じ目線の高さで介助する等、利用者の飲み込みが確認できるような姿勢で介助を行つたか。④ 0.86				20.1	9.8	15.9	54.4	83.8	83.2	86.3	72.3	67.2	81.4	80.0	91.1	0.0	○利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。	一		
	④ 利用者がしっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。				21.0	10.2	15.9	57.3	87.1	91.3	86.9	72.7	67.2	84.7	89.8	91.1	0.0	一	一		
	⑤ 自力での摂食を促し、必要時に介助を行つたか。				27.0	30.2	19.2	58.3	73.5	71.3	71.4	65.1	49.1	67.4	75.6	80.1	0.0	④自力での摂食を促し、必要時に介助を行つたか。	一		
	⑥ 利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。				25.0	21.0	16.3	60.2	46.6	40.7	44.3	56.1	24.6	42.7	41.1	56.3	0.0	②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	一		
	⑤ 食事の量や水分量の記録をしたか。				14.6	30.4	14.9	50.5	83.5	82.4	83.1	78.4	54.7	81.6	84.8	90.0	0.0	③食事の量や水分量の記録をしたか。	一		
5	口腔ケアができる																				
	① 出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを促したか。	2 3	現認		23.2	30.4	14.9	50.5	83.5	82.4	83.1	78.4	54.7	81.6	84.8	90.0	0.0	①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを促したか。	一	○チェック項目の順番修正。	
	② 義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行つたか。				28.1	29.1	19.7	58.3	82.8	86.3	85.6	67.4	56.9	79.4	85.6	88.5	0.0	②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行つたか。	一		
	③ スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えたか。				32.8	18.9	28.8	65.0	73.6	80.2	71.6	55.6	37.5	69.3	73.1	82.8	0.0	③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えたか。	一		
	④ 歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。				14.6	2.9	8.7	53.4	62.0	65.5	58.4	58.3	27.6	58.7	59.3	72.3	0.0	④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	一		

I. 基本介護技術の評価

3. 排泄介助

No.	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となつた被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考				
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4						
1	排泄の準備を行うことができる		2 3	現認 (必要に応じ記録確認)	8.9	4.4	3.4	32.7	82.8	86.8	81.6	80.6	66.7	74.3	87.6	87.4	0.0	○訴えの出来ない方は確認できないなど利用者それぞれに異なり不要ではないか。⇒必要ではないか。	1 排泄の準備を行うことができる				
	① 排泄の間隔を確認したか。				8.6	5.8	4.3	31.1	81.1	80.9	78.9	87.7	62.7	72.9	84.4	88.0	0.0	○「同意」の対応が困難な方も多い。⇒対応が可能な利用者への介助を前提とする。	①排泄の間隔を確認したか。				
	② 排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。				14.6	18.5	7.2	33.0	79.5	74.9	77.2	94.4	57.1	70.5	83.0	86.5	0.0	○利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者にやってもらうようにしたか。	②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。				
2	トイレ(ポータブルトイレ)への移乗を行うことができる		2 3	現認	30.3	38.5	22.1	52.9	87.3	91.9	88.9	77.6	68.6	84.2	89.4	91.8	0.0	一	2 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる				
	① 利用者が健側の手足に重心をかけ立ちあがり、身体の向きを変える際、腰を支えたか。 ③0.86				28.4	34.0	21.6	52.9	83.0	82.6	84.0	77.6	66.7	74.8	82.2	91.1	0.0	一	①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。				
	② ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。				27.7	32.0	21.6	51.9	86.6	92.6	82.2	82.0	70.6	80.8	90.0	90.7	0.0	一	②トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。				
3	トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助を行うことができる		2 3	現認	26.5	32.0	20.7	52.0	86.0	88.2	87.3	69.4	83.3	80.8	84.0	90.0	0.0	一	③ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。				
	① トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。 ④0.85				28.9	36.5	20.7	52.9	76.6	74.0	72.1	77.1	63.0	72.3	76.8	81.7	0.0	一	④排泄後、利用者にトイレットペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。				
	② 排泄後、利用者にトイレットペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。				27.7	32.0	21.2	52.9	89.5	91.9	92.1	79.2	81.3	80.6	90.2	95.0	0.0	一	⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。 ④0.88				
4	事業所・施設内の手順に沿って排泄物を処理したか。		2 3	記録確認	26.7	32.0	20.7	53.5	92.2	94.1	95.2	80.9	87.0	88.3	91.6	95.5	0.0	一	⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。				
	③ 失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。 ④0.88				28.0	33.5	22.1	53.5	65.1	67.7	60.5	76.6	56.0	51.5	65.6	72.9	0.0	一	⑦排泄物の量や性状、陰臀部の皮膚の異常について記録をしたか。				
	④ 事業所・施設内の手順に沿って排泄物を処理したか。				15.5	9.3	10.1	40.0	82.2	81.7	81.8	95.2	67.2	78.0	84.6	85.9	0.0	一	⑧手袋の使用方法、皮膚の異常への対応、軟膏等の塗布判断を加えてはどうか。⇒前2者については、それぞれ感染症対策、状況の変化への対応で評価。				
5	おむつ交換を行うことができる		2 3	現認	14.7	7.3	10.1	41.0	91.5	95.3	92.5	74.2	90.3	84.3	93.8	93.6	0.0	一	⑨おむつ交換を行える				
	① 利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。				13.9	6.3	10.1	39.0	92.2	92.2	94.1	95.3	82.5	88.4	93.3	95.7	0.0	一	⑩おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。				
	② おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。				13.9	6.3	10.1	39.0	83.3	84.4	79.7	93.8	66.7	72.7	85.4	90.9	0.0	一	⑪おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。				
6	おむつ交換を行える		2 3	記録確認	16.6	6.8	14.4	40.0	86.3	91.6	79.8	92.1	63.6	75.0	92.6	92.6	0.0	一	⑫排泄時刻、排泄物の量・性状、陰臀部の皮膚の異常について記録をしたか。				
	③ おむつ・パッドを尿漏れしない位置に装着したか。				16.6	6.8	14.4	40.0	86.3	91.6	79.8	92.1	63.6	75.0	92.6	92.6	0.0	一	○「皮膚の異常」については「状況の変化への対応」と重複するので削除				
	④ おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。				16.6	6.8	14.4	40.0	86.3	91.6	79.8	92.1	63.6	75.0	92.6	92.6	0.0	一	○「皮膚の異常」については「状況の変化への対応」と重複するので削除				
7	おむつ交換を行える		2 3	現認	16.6	6.8	14.4	40.0	86.3	91.6	79.8	92.1	63.6	75.0	92.6	92.6	0.0	一	⑬おむつ交換を行える				
	⑤ おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。				16.6	6.8	14.4	40.0	86.3	91.6	79.8	92.1	63.6	75.0	92.6	92.6	0.0	一	⑭おむつ交換を行える				
	⑥ おむつ・パッドを尿漏れしない位置に装着したか。				16.6	6.8	14.4	40.0	86.3	91.6	79.8	92.1	63.6	75.0	92.6	92.6	0.0	一	⑮おむつ交換を行える				

I. 基本介護技術の評価

4. 移乗・移動・体位変換

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となった被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考	
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4			
2	起居の介助ができる	<p>① 起きる前に、利用者に体調確認をしたか。</p> <p>② 全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。</p> <p>③ 一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。</p> <p>④ 利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。</p>	2 3	現認	14.0	5.3	8.7	46.2	74.3	76.9	70.0	91.2	58.2	68.8	72.9	80.9	0.0	○起居は入浴と別でもいいのではないか。	1 起居の介助ができる	○低血糖状態や起立性低血压を念頭に加筆。
					24.0	13.1	22.6	54.4	75.5	77.1	77.6	66.0	46.0	72.5	74.8	83.4	0.0	○「上体がカーブを描くように」かわかれてい。⇒原案でよいのではないか。	①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認をしたか。	
					26.5	26.7	23.1	48.5	77.0	78.1	73.8	71.7	53.8	72.0	72.3	87.9	0.0	○③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	
					20.6	12.3	17.8	49.1	75.7	80.4	71.9	66.7	47.1	72.3	73.5	84.3	0.0	○④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	
3	一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	<p>① 介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。</p> <p>② 利用者の健側かつ、利用者の手がアームレスト(アームサポート)に届く位置に車いすを配置したか(ベッドの配置等で困難な場合は、利用者の手がアームレスト(アームサポート)に届く範囲に配置したか)。^{③0.88、④0.85、⑤0.86、10-①0.76、10-②0.83、10-③0.81、10-④0.77、10-⑤0.75、10-⑥0.83}</p> <p>③ 利用者の患側に立ち、利用者の足底がきちんとついた状態で介助を行ったか。^{④0.88、⑤0.82、⑥0.87、10-①0.75、10-②0.84、10-③0.84、10-④0.77、10-⑤0.75、10-⑥0.82}</p> <p>④ 利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレスト(アームサポート)をつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。^{⑤0.81、⑥0.84、10-②0.79、10-③0.78、10-④0.72、10-⑤0.80}</p> <p>⑤ 利用者の患側の膝折れが起こらないよう手で支える等、バランスが崩れないよう支え、立ち上がりを介助したか。^{⑥0.86、10-②0.77、10-③0.77、10-④0.75、10-⑤0.81、10-⑥0.78}</p> <p>⑥ 利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。^{10-①0.76、10-②0.83、10-③0.81、10-④0.79、10-⑤0.79、10-⑥0.86}</p> <p>⑦ スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。</p>	2 3	現認	32.5	38.3	26.4	57.1	66.0	59.7	72.5	66.7	54.9	55.8	65.0	73.4	0.0	○移乗は別の項目で括った方がよい。 ○片麻痺に限りしている。	2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	○片麻痺に限りしないチェック項目をつくることは難しいのではないか(未実施率も高くなっている)。 ○「ベットへの移乗」と相関が高いことから、訪問介護の未実施率が低い「車いすへの移乗」を存置。
					37.1	46.8	27.4	57.1	83.9	91.6	84.8	68.9	65.2	80.0	82.1	90.9	0.0	—	—	
					38.1	47.8	28.8	58.1	83.6	84.8	88.5	63.6	59.6	77.0	84.5	91.9	0.0	—	—	
					38.9	47.8	29.3	60.0	77.8	81.0	78.2	64.3	55.8	72.4	77.8	84.9	0.0	○②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレスト(アームサポート)をつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	—	
					37.9	46.3	27.9	60.0	77.2	74.1	81.3	61.9	56.8	70.8	80.2	82.9	0.0	—	—	
					38.6	47.8	28.4	60.0	83.9	86.7	88.6	64.3	62.2	77.9	85.2	90.9	0.0	○③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	—	
					77.1	79.1	80.3	73.5	60.6	54.8	65.9	40.7	55.6	47.1	51.3	71.6	0.0	○④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	—	
					34.6	37.8	27.4	64.4	88.4	87.2	93.4	63.9	84.8	80.6	89.1	92.4	0.0	○ベッド⇒車いすは一つでもいいのではないか。	—	
10	一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる	<p>① 介助を始める前に、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)から足が降りているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているかを確認したか。</p> <p>② 利用者の健側がベッド側となるよう、かつ、移乗する際に活用できる柵等が手の届く位置に車いすを配置したか(ベッドの配置等で困難な場合は、移乗の際に活用できる柵等が手の届く範囲に車いすを配置したか)。^{③0.89、④0.85、⑤0.89}</p> <p>③ 利用者の患側に立ち、利用者の足底がきちんとついた状態で介助を行ったか。^{④0.86、⑤0.89}</p> <p>④ 利用者に健側の手で柵等をつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。(柵を使用していない場合には、健側の手をベッドの健側の膝より遠い位置についてもらは、患側を保護しながら立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。)^{⑤0.86、⑥0.87}</p> <p>⑤ 利用者の患側の膝折れが起こらないよう手で支える等、バランスが崩れないよう支え、立ち上がりを介助したか。^{⑥0.88}</p> <p>⑥ 利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、ベッドに座ることができたか。</p> <p>⑦ スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。</p>	2 3	現認	38.2	46.3	27.9	63.4	83.7	88.9	89.3	56.8	69.8	79.3	82.1	89.8	0.0	—	—	○「車いすへの移乗」と相関が高いことから、訪問介護の未実施率が高い「ベッドへの移乗」を削除。
					37.9	45.3	28.8	64.4	84.0	86.4	85.1	61.1	69.8	78.4	80.5	92.0	0.0	—	—	
					39.0	46.8	28.5	64.4	77.1	80.4	77.7	58.3	59.5	70.9	78.0	83.3	0.0	—	—	
					39.0	45.3	28.5	64.4	75.7	75.5	77.0	58.3	61.9	60.9	80.7	82.7	0.0	—	—	
					38.7	46.3	28.0	64.4	83.3	87.0	87.2	61.1	59.5	77.9	86.5	89.2	0.0	—	—	
					78.0	78.6	81.6	82.2	62.7	55.8	63.2	50.0	62.5	56.0	48.7	71.3	0.0	—	—	
					34.6	37.8	27.4	64.4	88.4	87.2	93.4	63.9	84.8	80.6	89.1	92.4	0.0	—	—	

○未実施率70%以上、通過率90%以上の項目は濃い網掛け

○「チェック項目の原案」欄内の青字は、相関が高い(0.85以上)項目及びその相関係数

4	全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	2 3	現認	○二人介助の評価がない。⇒訪問介護やユニットケアでは想定しにくいのではないか。	③ 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	○「ベッドへの移乗」と相関が高いことから、訪問介護の未実施率が低い「車いすへの移乗」を存置。
11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる	2 3	現認	○二人介助の評価がない。⇒訪問介護やユニットケアでは想定しにくいのではないか。	-	○「車いすへの移乗」と相関が高いことから、訪問介護の未実施率が高い「ベッドへの移乗」を削除。
5	車いすの移動ができる	現認	○移動は入浴とは別の項目でいいのではないか。	-	○通過率が9割前後、施設の場合は段差等を考慮する必要がないという意見を踏まえ、削除。	
6	杖歩行の介助ができる	2 3	現認	○杖歩行介助の人はほぼいない	④ 杖歩行の介助ができる	○未実施率は6割前後あるが、重要な項目として存置。
4	体位変換ができる	2.3	現認	○移乗やベッドの起居で括ればよいのではないか。	⑤ 体位変換ができる	○通過率が8割から9割超と高いことから削除。

I. 基本介護技術の評価

5. 状況の変化に応じた対応

No. 小 項 目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となつた被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考																																																																																																														
				全 体	特 養	老 健	訪 護問 介	全 体	特 養	老 健	訪 護問 介	レ ベ ル1	レ ベ ル2 ①	レ ベ ル2 ②	レ ベ ル3	レ ベ ル4																																																																																																																
1 咳やむせこみに対応ができる	<p>① 咳の強さ、顔色等の観察をしたか。</p> <p>② 次の順で適切な対応ができたか。 ・強い咳をするように声かけをしたか。 ・背中を強く叩いたか(タッピング)。 ・(それでも改善しない場合)ハイムリッヒ法を実施したか。</p> <p>③ (上記の対応を行っても改善しない場合)医療職に連絡したか。</p> <p>④ 記録をしたか。</p>	<p>状況の変化が起こった場合に現認</p> <p>状況の変化が起こった場合に現認</p> <p>記録確認</p>	<table border="1"> <tr><td>39.9</td><td>26.1</td><td>45.6</td><td>66.7</td><td>81.4</td><td>90.5</td><td>80.2</td><td>44.1</td><td>58.3</td><td>72.9</td><td>82.2</td><td>89.6</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>49.9</td><td>33.3</td><td>51.6</td><td>77.0</td><td>64.5</td><td>69.5</td><td>64.0</td><td>30.4</td><td>41.7</td><td>46.0</td><td>62.8</td><td>76.8</td><td>0.3</td><td>○訪問介護は、利用者によっては評価如何を長くても「状況の変化」が発生しない場合が少くないのではないか。</td><td>1 咳やむせこみに対応ができる</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>○対応が細かすぎる。</td><td>①咳の強さ、顔色等の観察をしたか。</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>・強い咳をするように声かけをしたか。</td><td>②次の順で適切な対応ができたか。</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>・背中を強く叩いたか(タッピング)。</td><td>・強い咳をするように声かけをしたか。</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>70.1</td><td>60.3</td><td>75.8</td><td>88.2</td><td>81.8</td><td>83.5</td><td>91.5</td><td>25.0</td><td>90.0</td><td>81.6</td><td>83.3</td><td>77.5</td><td>0.2</td><td>○タッピングして改善しない場合は、医療職に連絡した方がよいのではないか。</td><td>・(それでも改善しない場合)医療職に連絡したか。</td><td>・(それでも改善しない場合)医療職に連絡したか。</td><td>○未実施率が高いことを踏まえ、②の最後に位置付け。</td></tr> <tr><td>50.1</td><td>36.4</td><td>56.9</td><td>69.6</td><td>75.7</td><td>88.1</td><td>65.5</td><td>61.3</td><td>72.0</td><td>66.7</td><td>79.2</td><td>77.6</td><td>0.4</td><td>○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価</td><td>③記録をしたか。</td><td></td><td></td></tr> </table>	39.9	26.1	45.6	66.7	81.4	90.5	80.2	44.1	58.3	72.9	82.2	89.6	0.5					49.9	33.3	51.6	77.0	64.5	69.5	64.0	30.4	41.7	46.0	62.8	76.8	0.3	○訪問介護は、利用者によっては評価如何を長くても「状況の変化」が発生しない場合が少くないのではないか。	1 咳やむせこみに対応ができる			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	○対応が細かすぎる。	①咳の強さ、顔色等の観察をしたか。			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	・強い咳をするように声かけをしたか。	②次の順で適切な対応ができたか。			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	・背中を強く叩いたか(タッピング)。	・強い咳をするように声かけをしたか。			70.1	60.3	75.8	88.2	81.8	83.5	91.5	25.0	90.0	81.6	83.3	77.5	0.2	○タッピングして改善しない場合は、医療職に連絡した方がよいのではないか。	・(それでも改善しない場合)医療職に連絡したか。	・(それでも改善しない場合)医療職に連絡したか。	○未実施率が高いことを踏まえ、②の最後に位置付け。	50.1	36.4	56.9	69.6	75.7	88.1	65.5	61.3	72.0	66.7	79.2	77.6	0.4	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	③記録をしたか。			<p>○訪問介護は、利用者によっては評価如何を長くても「状況の変化」が発生しない場合が少くないのではないか。</p> <p>○対応が細かすぎる。</p> <p>○タッピングして改善しない場合は、医療職に連絡した方がよいのではないか。</p> <p>○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価</p>	<p>1 咳やむせこみに対応ができる</p> <p>①咳の強さ、顔色等の観察をしたか。</p> <p>②次の順で適切な対応ができたか。</p> <p>・強い咳をするように声かけをしたか。</p> <p>・背中を強く叩いたか(タッピング)。</p> <p>・(それでも改善しない場合)医療職に連絡したか。</p> <p>③記録をしたか。</p>	<p>○「便秘」は多いが「下痢」は滅多にならないのではないか。</p>	<p>○小項目として削除。</p>		
39.9	26.1	45.6	66.7	81.4	90.5	80.2	44.1	58.3	72.9	82.2	89.6	0.5																																																																																																																				
49.9	33.3	51.6	77.0	64.5	69.5	64.0	30.4	41.7	46.0	62.8	76.8	0.3	○訪問介護は、利用者によっては評価如何を長くても「状況の変化」が発生しない場合が少くないのではないか。	1 咳やむせこみに対応ができる																																																																																																																		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	○対応が細かすぎる。	①咳の強さ、顔色等の観察をしたか。																																																																																																																		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	・強い咳をするように声かけをしたか。	②次の順で適切な対応ができたか。																																																																																																																		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	・背中を強く叩いたか(タッピング)。	・強い咳をするように声かけをしたか。																																																																																																																		
70.1	60.3	75.8	88.2	81.8	83.5	91.5	25.0	90.0	81.6	83.3	77.5	0.2	○タッピングして改善しない場合は、医療職に連絡した方がよいのではないか。	・(それでも改善しない場合)医療職に連絡したか。	・(それでも改善しない場合)医療職に連絡したか。	○未実施率が高いことを踏まえ、②の最後に位置付け。																																																																																																																
50.1	36.4	56.9	69.6	75.7	88.1	65.5	61.3	72.0	66.7	79.2	77.6	0.4	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	③記録をしたか。																																																																																																																		
2 下痢の場合に対応ができる	<p>① 便の観察をしたか(性状、量等)。②0.92、⑤0.86、⑥0.85</p> <p>② 本人の様子を観察・確認したか(腹痛や吐き気の有無、下痢が続いているか否か等)。⑤0.85、⑥0.87</p> <p>③ 原因の探索と確認をしたか。</p> <p>④ (吐き気・嘔吐がなく、口からの摂取が可能な場合)水分・電解質を補給したか。</p> <p>⑤ (腹痛の訴え、吐き気や嘔吐がある、下痢が続いている場合等)医療職に連絡したか。</p> <p>⑥ 記録をしたか。</p>	<p>評価期間中に状況の変化が起こった場合に現認</p> <p>記録確認</p>	<table border="1"> <tr><td>49.3</td><td>46.2</td><td>53.8</td><td>69.6</td><td>84.9</td><td>88.8</td><td>85.6</td><td>51.6</td><td>75.0</td><td>75.3</td><td>86.5</td><td>90.6</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>50.4</td><td>47.2</td><td>55.4</td><td>69.6</td><td>79.2</td><td>83.8</td><td>78.2</td><td>45.2</td><td>71.0</td><td>69.0</td><td>80.9</td><td>84.6</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>52.1</td><td>47.2</td><td>57.9</td><td>70.6</td><td>52.3</td><td>53.3</td><td>51.2</td><td>33.3</td><td>32.3</td><td>40.9</td><td>47.3</td><td>64.4</td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>54.2</td><td>50.3</td><td>60.0</td><td>71.6</td><td>62.7</td><td>64.6</td><td>59.0</td><td>37.9</td><td>39.3</td><td>62.5</td><td>57.8</td><td>70.2</td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>55.1</td><td>50.8</td><td>56.9</td><td>81.4</td><td>85.2</td><td>84.7</td><td>94.0</td><td>36.8</td><td>75.9</td><td>85.7</td><td>86.0</td><td>86.1</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>50.2</td><td>46.7</td><td>56.9</td><td>69.6</td><td>80.5</td><td>88.7</td><td>76.2</td><td>58.1</td><td>66.7</td><td>76.1</td><td>84.2</td><td>82.3</td><td>0.4</td><td>○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価</td><td>一</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>50.2</td><td>46.7</td><td>56.9</td><td>69.6</td><td>80.5</td><td>88.7</td><td>76.2</td><td>58.1</td><td>66.7</td><td>76.1</td><td>84.2</td><td>82.3</td><td>0.4</td><td>一</td><td>一</td><td></td><td></td></tr> </table>	49.3	46.2	53.8	69.6	84.9	88.8	85.6	51.6	75.0	75.3	86.5	90.6	0.4					50.4	47.2	55.4	69.6	79.2	83.8	78.2	45.2	71.0	69.0	80.9	84.6	0.4					52.1	47.2	57.9	70.6	52.3	53.3	51.2	33.3	32.3	40.9	47.3	64.4	0.2					54.2	50.3	60.0	71.6	62.7	64.6	59.0	37.9	39.3	62.5	57.8	70.2	0.3					55.1	50.8	56.9	81.4	85.2	84.7	94.0	36.8	75.9	85.7	86.0	86.1	0.4					50.2	46.7	56.9	69.6	80.5	88.7	76.2	58.1	66.7	76.1	84.2	82.3	0.4	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	一			50.2	46.7	56.9	69.6	80.5	88.7	76.2	58.1	66.7	76.1	84.2	82.3	0.4	一	一			<p>○「便秘」は多いが「下痢」は滅多にならないのではないか。</p>	<p>○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価</p>	<p>○便の異常(便便・血尿など)に対応ができる</p> <p>① 便の観察をしたか(性状、量等)。②0.92、⑤0.86、⑥0.85</p> <p>② 本人の様子を観察・確認したか(腹痛や吐き気の有無、下痢が続いているか否か等)。⑤0.85、⑥0.87</p> <p>③ 原因の探索と確認をしたか。</p> <p>④ (吐き気・嘔吐がなく、口からの摂取が可能な場合)水分・電解質を補給したか。</p> <p>⑤ (腹痛の訴え、吐き気や嘔吐がある、下痢が続いている場合等)医療職に連絡したか。</p> <p>⑥ 記録をしたか。</p>	<p>○便の異常(便便・血尿など)に対応ができる</p>	<p>○小項目として削除。</p>	
49.3	46.2	53.8	69.6	84.9	88.8	85.6	51.6	75.0	75.3	86.5	90.6	0.4																																																																																																																				
50.4	47.2	55.4	69.6	79.2	83.8	78.2	45.2	71.0	69.0	80.9	84.6	0.4																																																																																																																				
52.1	47.2	57.9	70.6	52.3	53.3	51.2	33.3	32.3	40.9	47.3	64.4	0.2																																																																																																																				
54.2	50.3	60.0	71.6	62.7	64.6	59.0	37.9	39.3	62.5	57.8	70.2	0.3																																																																																																																				
55.1	50.8	56.9	81.4	85.2	84.7	94.0	36.8	75.9	85.7	86.0	86.1	0.4																																																																																																																				
50.2	46.7	56.9	69.6	80.5	88.7	76.2	58.1	66.7	76.1	84.2	82.3	0.4	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	一																																																																																																																		
50.2	46.7	56.9	69.6	80.5	88.7	76.2	58.1	66.7	76.1	84.2	82.3	0.4	一	一																																																																																																																		
3 便・尿の異常(便便・血尿など)に対応ができる	<p>① 便、尿の観察をしたか(色やにおい、血液が混入していないかどうか等)。②0.89</p> <p>② 本人の様子を観察・確認したか(便便・尿の異常やショック状態等)。</p> <p>③ 原因の探索と確認をしたか。</p> <p>④ (血液の混入、悪臭、便便・尿の異常やショック状態が観察された場合等)医療職に連絡したか。</p> <p>⑤ 記録をしたか。</p>	<p>状況の変化が起こった場合に現認</p> <p>記録確認</p>	<table border="1"> <tr><td>51.0</td><td>47.0</td><td>51.3</td><td>69.0</td><td>84.0</td><td>86.7</td><td>88.4</td><td>54.8</td><td>76.9</td><td>74.3</td><td>87.0</td><td>88.3</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>53.1</td><td>47.5</td><td>54.4</td><td>71.0</td><td>75.7</td><td>74.0</td><td>80.9</td><td>58.6</td><td>58.3</td><td>67.1</td><td>76.8</td><td>82.4</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>57.0</td><td>50.0</td><td>59.0</td><td>74.0</td><td>57.0</td><td>56.6</td><td>60.0</td><td>42.3</td><td>38.1</td><td>45.2</td><td>54.9</td><td>67.5</td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>60.1</td><td>54.0</td><td>57.4</td><td>84.0</td><td>84.8</td><td>85.7</td><td>94.0</td><td>25.0</td><td>80.0</td><td>80.6</td><td>89.4</td><td>84.0</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>54.4</td><td>50.8</td><td>53.6</td><td>72.0</td><td>78.5</td><td>83.5</td><td>77.8</td><td>60.7</td><td>69.6</td><td>76.2</td><td>80.9</td><td>79.0</td><td>0.4</td><td>○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価</td><td>④記録をしたか。</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>54.4</td><td>50.8</td><td>53.6</td><td>72.0</td><td>78.5</td><td>83.5</td><td>77.8</td><td>60.7</td><td>69.6</td><td>76.2</td><td>80.9</td><td>79.0</td><td>0.4</td><td>一</td><td>一</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>54.4</td><td>50.8</td><td>53.6</td><td>72.0</td><td>78.5</td><td>83.5</td><td>77.8</td><td>60.7</td><td>69.6</td><td>76.2</td><td>80.9</td><td>79.0</td><td>0.4</td><td>③(血液の混入、悪臭、便便・尿の異常やショック状態が観察された場合等)医療職に連絡したか。</td><td>②原因の探索と確認をしたか。</td><td></td><td></td></tr> </table>	51.0	47.0	51.3	69.0	84.0	86.7	88.4	54.8	76.9	74.3	87.0	88.3	0.4					53.1	47.5	54.4	71.0	75.7	74.0	80.9	58.6	58.3	67.1	76.8	82.4	0.4					57.0	50.0	59.0	74.0	57.0	56.6	60.0	42.3	38.1	45.2	54.9	67.5	0.2					60.1	54.0	57.4	84.0	84.8	85.7	94.0	25.0	80.0	80.6	89.4	84.0	0.4					54.4	50.8	53.6	72.0	78.5	83.5	77.8	60.7	69.6	76.2	80.9	79.0	0.4	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	④記録をしたか。			54.4	50.8	53.6	72.0	78.5	83.5	77.8	60.7	69.6	76.2	80.9	79.0	0.4	一	一			54.4	50.8	53.6	72.0	78.5	83.5	77.8	60.7	69.6	76.2	80.9	79.0	0.4	③(血液の混入、悪臭、便便・尿の異常やショック状態が観察された場合等)医療職に連絡したか。	②原因の探索と確認をしたか。			<p>○現認が難しい。</p> <p>○現認が難しい。</p>	<p>2 便・尿の異常(便便・血尿など)に対応ができる</p> <p>① 本人の様子(便便・尿の異常やショック状態等)や便、尿(色やにおい、血液が混入していないかどうか等)を観察・確認したか。</p> <p>②原因の探索と確認をしたか。</p> <p>③(血液の混入、悪臭、便便・尿の異常やショック状態が観察された場合等)医療職に連絡したか。</p> <p>④記録をしたか。</p>	<p>○現認が難しい。</p>	<p>○現認が難しい。</p>	<p>○便の異常(便便・血尿など)に対応ができる</p>	<p>○小項目として削除。</p>
51.0	47.0	51.3	69.0	84.0	86.7	88.4	54.8	76.9	74.3	87.0	88.3	0.4																																																																																																																				
53.1	47.5	54.4	71.0	75.7	74.0	80.9	58.6	58.3	67.1	76.8	82.4	0.4																																																																																																																				
57.0	50.0	59.0	74.0	57.0	56.6	60.0	42.3	38.1	45.2	54.9	67.5	0.2																																																																																																																				
60.1	54.0	57.4	84.0	84.8	85.7	94.0	25.0	80.0	80.6	89.4	84.0	0.4																																																																																																																				
54.4	50.8	53.6	72.0	78.5	83.5	77.8	60.7	69.6	76.2	80.9	79.0	0.4	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	④記録をしたか。																																																																																																																		
54.4	50.8	53.6	72.0	78.5	83.5	77.8	60.7	69.6	76.2	80.9	79.0	0.4	一	一																																																																																																																		
54.4	50.8	53.6	72.0	78.5	83.5	77.8	60.7	69.6	76.2	80.9	79.0	0.4	③(血液の混入、悪臭、便便・尿の異常やショック状態が観察された場合等)医療職に連絡したか。	②原因の探索と確認をしたか。																																																																																																																		
4 皮膚の異常(炎症、表皮剥離、水泡、潰瘍等)に対応ができる	<p>① 皮膚の症状(大きさ、深さ、出血・浸出液・臭気の有無等)や本人の様子(痛みやかゆみの有無等)の観察をしたか。</p> <p>② 原因の模索と確認をしたか。</p> <p>③ (かゆがっていたり、炎症、表皮剥離、水泡、潰瘍が観察された場合等)医療職に連絡したか。</p> <p>④ 記録をしたか。</p>	<p>状況の変化が起こった場合に現認</p> <p>記録確認</p>	<table border="1"> <tr><td>36.7</td><td>30.8</td><td>42.1</td><td>54.5</td><td>85.3</td><td>87.6</td><td>91.2</td><td>76.1</td><td>66.7</td><td>84.1</td><td>86.7</td><td>88.9</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>40.6</td><td>31.3</td><td>47.2</td><td>56.4</td><td>61.8</td><td>59.6</td><td>64.1</td><td>61.4</td><td>37.5</td><td>45.7</td><td>60.2</td><td>75.0</td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>44.0</td><td>33.8</td><td>43.6</td><td>80.2</td><td>87.1</td><td>87.8</td><td>92.7</td><td>50.0</td><td>82.4</td><td>87.8</td><td>85.7</td><td>88.5</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>41.0</td><td>33.8</td><td>46.7</td><td>56.4</td><td>78.0</td><td>85.5</td><td>71.2</td><td>77.3</td><td>64.5</td><td>74.7</td><td>79.2</td><td>80.8</td><td>0.5</td><td>○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価</td><td>④記録をしたか。</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>41.0</td><td>33.8</td><td>46.7</td><td>56.4</td><td>78.0</td><td>85.5</td><td>71.2</td><td>77.3</td><td>64.5</td><td>74.7</td><td>79.2</td><td>80.8</td><td>0.5</td><td>一</td><td>一</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>33.1</td><td>19.2</td><td>38.5</td><td>64.0</td><td>47.8</td><td>42.5</td><td>51.7</td><td>47.2</td><td>19.0</td><td>33.3</td><td>46.8</td><td>60.7</td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>35.5</td><td>21.2</td><td>41.5</td><td>65.0</td><td>42.2</td><td>35.3</td><td>42.1</td><td>45.7</td><td>16.7</td><td>21.4</td><td>42.1</td><td>56.5</td><td>0.3</td><td>○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価</td><td>③いつもと違う行動が見られた利用者を観察し、脅威や不安を感じない(利用者の表情・行動にネガティブな変化がない)よう近づき、声をかける等対応し、利用者の行動や表情から不安・不快感等を軽減させることができたか。</td><td>②いつもと違う行動が見られた利用者を観察し、脅威や不安を感じない(利用者の表情・行動にネガティブな変化がない)よう近づき、声</td></tr></table>	36.7	30.8	42.1	54.5	85.3	87.6	91.2	76.1	66.7	84.1	86.7	88.9	0.5					40.6	31.3	47.2	56.4	61.8	59.6	64.1	61.4	37.5	45.7	60.2	75.0	0.4					44.0	33.8	43.6	80.2	87.1	87.8	92.7	50.0	82.4	87.8	85.7	88.5	0.5					41.0	33.8	46.7	56.4	78.0	85.5	71.2	77.3	64.5	74.7	79.2	80.8	0.5	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	④記録をしたか。			41.0	33.8	46.7	56.4	78.0	85.5	71.2	77.3	64.5	74.7	79.2	80.8	0.5	一	一			33.1	19.2	38.5	64.0	47.8	42.5	51.7	47.2	19.0	33.3	46.8	60.7	0.3					35.5	21.2	41.5	65.0	42.2	35.3	42.1	45.7	16.7	21.4	42.1	56.5	0.3	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	③いつもと違う行動が見られた利用者を観察し、脅威や不安を感じない(利用者の表情・行動にネガティブな変化がない)よう近づき、声をかける等対応し、利用者の行動や表情から不安・不快感等を軽減させることができたか。	②いつもと違う行動が見られた利用者を観察し、脅威や不安を感じない(利用者の表情・行動にネガティブな変化がない)よう近づき、声							
36.7	30.8	42.1	54.5	85.3	87.6	91.2	76.1	66.7	84.1	86.7	88.9	0.5																																																																																																																				
40.6	31.3	47.2	56.4	61.8	59.6	64.1	61.4	37.5	45.7	60.2	75.0	0.4																																																																																																																				
44.0	33.8	43.6	80.2	87.1	87.8	92.7	50.0	82.4	87.8	85.7	88.5	0.5																																																																																																																				
41.0	33.8	46.7	56.4	78.0	85.5	71.2	77.3	64.5	74.7	79.2	80.8	0.5	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	④記録をしたか。																																																																																																																		
41.0	33.8	46.7	56.4	78.0	85.5	71.2	77.3	64.5	74.7	79.2	80.8	0.5	一	一																																																																																																																		
33.1	19.2	38.5	64.0	47.8	42.5	51.7	47.2	19.0	33.3	46.8	60.7	0.3																																																																																																																				
35.5	21.2	41.5	65.0	42.2	35.3	42.1	45.7	16.7	21.4	42.1	56.5	0.3	○記録を残すのみではなく、その後のカンファレンス等の対応も評価すべきではないか。⇒介護過程の展開において評価	③いつもと違う行動が見られた利用者を観察し、脅威や不安を感じない(利用者の表情・行動にネガティブな変化がない)よう近づき、声をかける等対応し、利用者の行動や表情から不安・不快感等を軽減させることができたか。	②いつもと違う行動が見られた利用者を観察し、脅威や不安を感じない(利用者の表情・行動にネガティブな変化がない)よう近づき、声																																																																																																																	

II. 利用者視点での評価

1. 利用者・家族とのコミュニケーション

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率(未実施を除く)				「A」となった被評価者の割合(未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考		
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4				
1	削除	相談・苦情対応ができる	2②・3・4	対応すべき事態が起った場合に現認															○対応は相談員または上司が行っている。	1 相談・苦情対応ができる	
		① (自分で対応できない場合)相談・苦情の内容について、上司に報告し、対応を依頼することができたか。			54.1	50.9	59.9	57.4	73.6	73.4	74.1	59.6	50.0	63.6	71.1	83.0	87.8		①(自分で対応できない場合)相談・苦情の内容について、上司に報告し、対応を依頼することができたか。		
		② 相談・苦情を受ける際、十分に事情や言い分を聞き、利用者や家族の感情を害さないように対応できたか。			57.3	55.4	62.3	61.5	59.0	61.6	61.3	51.1	32.1	45.9	51.2	71.0	79.2	○その場で処理することはできないため、現認の評価は難しい。 ○アセッサーはその場にいないのでわからない。			
		③ 相談・苦情の内容及び関連情報を正確に把握・収集し、わかりやすく整理することができたか。		記録確認	54.9	49.5	66.3	54.7	61.9	61.1	59.4	54.2	0.0	0.2	0.0	59.0	68.0	③相談・苦情の内容及び関連情報を正確に把握・収集し、わかりやすく整理することができたか。			
		④ 利用者や家族と、相談に対する解決策を考える場を持ったか。 ⑥0, 86			62.5	59.8	74.7	56.6	49.6	46.5	50.0	47.8	0.0	0.2	0.0	43.8	58.3	一			
		⑤ 苦情の要因を特定し、解決策及び再発防止策を考えることができたか。		3.4	59.8	57.4	70.5	52.8	53.8	50.0	57.1	48.0	0.0	0.2	0.0	47.2	65.3	④苦情の要因を特定し、解決策及び再発防止策を考えることができたか。			
		⑥ 苦情に対する解決策及び再発防止策を利用者や家族に説明し、納得してもらえたか。			66.9	66.7	74.7	60.4	44.1	38.9	50.0	38.1	0.0	0.1	0.0	38.0	52.4	⑤苦情に対する解決策及び再発防止策を利用者や家族に説明し、納得してもらえたか。			
		⑦ 相談・苦情に対する解決策について、チームメンバーと共有し、解決策が継続的に実践されるよう働きかけを行ったか。		記録確認	55.9	50.9	69.5	52.8	62.4	62.3	55.2	56.0	0.0	0.2	0.0	59.0	69.2	⑥相談・苦情に対する解決策について、チームメンバーと共有し、解決策が継続的に実践されるよう働きかけを行ったか。			
		2 利用者特性に応じたコミュニケーションができる																2 利用者特性に応じたコミュニケーションができる			
2	削除	① 利用者や家族との間で、態度や言葉遣いによるトラブルがなかったか。	2②・3・4	日頃の対応を観察(必要に応じて被評価者へのヒアリング。利用者意見により補足)	11.5	9.5	11.8	10.6	84.8	86.6	85.6	79.1	71.0	80.5	82.7	91.4	89.5	①家族に利用者の日頃の様子などの情報を積極的に伝えることができたか。	○何かを積極的に行ったかを評価する項目に修正した方がよいという意見を踏まえ、「家族とのコミュニケーション」を追加。 ○「ニーズや思いを理解」「場の雰囲気にあった配慮ある言動」について具体的なく、修正。 ○介護職の専門的能力を評価する項目を検討し追加。		
		② 利用者のニーズや思いを理解し、場の雰囲気に合った配慮ある言動を示しているか。			5.9	4.1	7.5	8.1	66.9	69.0	62.8	72.6	35.9	55.6	65.4	74.9	89.7	②利用者が興味関心を持てるような話題を取り上げ、コミュニケーションをとる			
		③ 認知症の利用者に対し、その特性に応じた声かけやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができたか。			9.9	5.0	11.8	21.1	65.7	69.2	62.6	66.0	40.3	50.8	64.2	75.2	84.0	③利用者の話に耳を貸し、意思表示を把握し、理解することができたか。			
		④ 視覚障害の利用者に対し、その特性に応じた声かけをし、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができたか。			37.2	23.9	38.2	57.7	73.4	75.7	70.2	65.4	54.8	58.9	74.6	81.4	87.0	④認知症の利用者に対し、その特性に応じた声かけやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができたか。			
		⑤ 聴覚障害・難聴の利用者に対し、その特性に応じた声かけやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができたか。			27.3	15.8	26.9	55.3	71.7	73.8	65.2	72.7	51.0	59.0	71.9	79.7	85.2	⑤視覚障害の利用者に対し、その特性に応じた声かけをし、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができたか。			
		⑥ 聴覚障害・難聴の利用者に対し、その特性に応じた声かけやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができたか。																	⑥聴覚障害・難聴の利用者に対し、その特性に応じた声かけやジェスチャー、表情等により、利用者の意向を確認し、介護の内容を伝えることができたか。		

II. 利用者視点での評価

2. 介護過程の展開

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となつた被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4		
1	① 利用者に関する情報を収集できる		3・4	直近の介護過程の記録確認(必要に応じて被評価者へのヒアリング)													○サービス提供責任者でないと計画書等の帳簿に係る業務は行わないで評価できない(以下同じ)。⇒未実施率は低いことから、全体を残してよいのではないか。	1 利用者に関する情報を収集できる	
					8.2	8.3	13.8	1.9	75.5	77.8	67.9	88.5	0.0	0.0	0.0	72.5	86.5		①利用者や家族の生活に対する意向を把握できたか。
					8.2	8.3	13.8	1.9	80.7	83.8	75.3	86.5	0.0	0.0	0.0	78.9	87.8		—
					9.3	9.3	13.8	3.8	70.2	72.4	60.5	76.5	0.0	0.0	0.0	67.2	80.8		②利用者の心身機能・身体状況、利用者の「できる行為・活動」(実際には行う力を持っており、訓練や適切な支援によってできるようになること)と「している行為・活動」(毎日の生活の中で特別に意識したり、努力したりすることなく行っていること)について、それぞれ把握できたか。
					9.9	10.2	14.9	3.8	55.9	52.6	42.5	72.5	0.0	0.0	0.0	52.1	68.5		③利用者をとりまく物的環境(食品、薬、福祉用具等)、人的環境(家族、友人等の支援や態度)、利用している制度について把握できたか。⑤0.86
					9.6	10.2	14.9	1.9	53.3	49.5	42.5	67.3	0.0	0.0	0.0	50.2	63.0		—
2	② 個別介護計画を立案できる		3・4	直近の介護過程の記録確認(必要に応じて被評価者へのヒアリング)													2 個別介護計画を立案できる		
					20.3	11.1	20.2	30.2	70.3	72.9	64.0	73.0	0.0	0.0	0.0	66.2	83.1		①得られた情報を整理、統合することができたか。
					21.5	11.1	20.2	28.3	65.5	64.6	61.3	55.3	0.0	0.0	0.0	60.6	80.0		②課題を明確にすることができたか。
					25.6	15.7	22.3	35.8	64.8	67.0	63.0	55.9	0.0	0.0	0.0	60.3	78.5		③個別介護計画において、利用者の生活習慣や価値観を尊重する目標、心身の機能を維持・改善するとともに、自立的な生活を支援する目標を設定し、それを達成するための具体的な支援内容(担当者、頻度、期間を含む)を設定できたか。
					25.6	15.7	22.3	35.8	62.1	61.5	60.3	58.8	0.0	0.0	0.0	58.2	73.8		—
					41.4	41.7	38.3	41.5	77.4	74.6	81.0	77.4	0.0	0.0	0.0	74.1	87.5		④個別介護計画を利用者や家族に説明し、同意が得られたか。
3	③ 個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる		3・4	直近の介護過程の記録確認(必要に応じて被評価者へのヒアリング)													3 個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる		
					25.4	17.6	23.4	34.0	70.2	73.0	61.1	68.6	0.0	0.0	0.0	67.9	77.6		①ケアカンファレンス等の場において、個別介護計画の目標、支援内容及びそこに関わるスタッフの役割等についてチームメンバーに説明して共有し、プラン内容が継続的に実践される働きかけを行ったか。
					24.5	17.6	23.4	30.2	73.5	74.2	69.4	67.6	0.0	0.0	0.0	71.1	81.8		②チームにおける個別介護計画の実施状況を把握したか。
					28.2	26.9	26.6	30.2	59.2	55.7	52.2	64.9	0.0	0.0	0.0	57.0	65.6		③個別介護計画に基づく支援に対する利用者・家族の満足度や意向を把握したか。
					23.4	15.7	24.5	30.2	68.4	67.0	57.7	67.6	0.0	0.0	0.0	65.3	77.9		④個別介護計画に基づく支援による利用者の心身の状況や利用者を取り巻く物的環境、人的環境の変化を把握したか。
					25.1	16.7	28.7	28.3	61.9	58.9	50.7	63.2	0.0	0.0	0.0	58.9	70.6		—
4	④ 個別介護計画の評価ができる		3・4	直近の介護過程の記録確認(必要に応じて被評価者へのヒアリング)													4 個別介護計画の評価ができる		
					26.4	15.0	29.0	40.4	76.8	79.1	71.2	74.2	0.0	0.0	0.0	75.3	82.8		①個別介護計画の目標に対する到達度を評価したか。
					30.7	27.1	32.3	36.5	60.7	53.8	58.7	66.7	0.0	0.0	0.0	57.9	68.9		②個別介護計画の内容に対する利用者・家族の満足度や意向を把握したか。
					32.4	27.1	32.3	44.2	62.2	65.4	52.4	58.6	0.0	0.0	0.0	57.9	74.2		③個別介護計画の見直しにあたっての代替案を設定したか。④0.87
					32.1	24.8	35.5	42.3	69.2	69.6	65.0	60.0	0.0	0.0	0.0	68.0	73.3		—

II. 利用者視点での評価

3. 感染症対策・衛生管理

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となつた被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考		
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4				
2	2 嘔吐物、汚物処理の対応ができる	<p>① 利用者の血液、体液、分泌物、排泄物(汗を除く)、障害のある皮膚、粘膜に素手で接触した場合、手洗い及び消毒をしたか。② 0.90</p> <p>② 利用者の血液、体液、排泄物(汗を除く)、嘔吐物を処理する際、新しい手袋をしたか。</p> <p>③ 利用者の嘔吐があった場合等必要に応じて、アルコール消毒を行い、感染予防着、ゴーグル、手袋などを着用し対応したか。④ 0.85</p> <p>④ 感染症に罹患した利用者の部屋や嘔吐物等がある場所の消毒を確実に行つたか。</p>	2②・ 3・4	対応すべき 事態が起こった 場合に現認	41.8	30.2	43.8	61.5	87.5	89.7	90.7	59.6	78.6	86.0	86.4	90.0	92.0		① 利用者の血液、体液、分泌物、排泄物(汗を除く)、障害のある皮膚、粘膜に素手で接触した場合、手洗い及び消毒、 または手袋の交換 をしたか ② オムツ、清拭、エプロン等感染の媒介となるものを、床に直接置いていないか。 ③ 嘔吐物、排泄物、血液等の感染源になるものがある場所の消毒を確実に行つたか。	<p>1 感染症予防対策ができる</p>	<p>○感染症予防対策の重要性に鑑み、加筆(追加でいただいたご意見を踏まえ修正)。</p> <p>○訪問介護を考慮し、「感染症に罹患した利用者の部屋や」を削除するとともに、「嘔吐物等」を具体化。</p>
					41.0	25.7	45.2	61.5	87.0	91.5	89.6	59.6	87.1	82.6	85.5	89.5	92.2	—			
					57.8	44.6	64.8	73.0	77.7	82.9	83.8	33.3	72.2	70.7	75.6	82.1	85.3	—			
					61.4	49.5	71.4	74.6	76.3	83.0	81.7	22.6	58.3	61.8	78.4	82.1	84.8	③ 嘔吐物、排泄物、血液等の感染源になるものがある場所の消毒を確実に行つたか。			
1	1 感染症に対する標準予防策や自己管理を講じることができる	<p>① 利用者に、どのような感染症の既往があるか確認できているか。</p> <p>② 自分が風邪気味の時にはマスクを着用したか。</p> <p>③ 爪は短くしているか。</p> <p>④ 自分が感染症にかかったと思われるときは速やかに医療機関を受診したか。</p>	2②・ 3・4	日頃の対応を観察	8.7	3.2	12.9	16.3	59.2	62.3	54.1	73.8	27.3	40.6	56.5	69.7	87.5		④ 利用者に、どのような感染症の既往があるか確認できているか。	<p>○「医療機関を受診するか」の方がよいのではないか。</p>	<p>○通過率が約8割から9割超であることを踏まえ、削除。</p>
					15.3	10.8	17.2	31.7	93.6	93.9	96.5	85.7	89.3	92.7	95.6	94.8	92.3	—			
					6.2	2.3	11.0	14.6	94.1	94.5	95.2	90.5	92.6	92.5	94.7	95.7	93.3	—			
					36.9	28.4	51.2	45.5	89.5	88.7	90.2	79.1	84.2	85.5	89.9	91.5	94.5	—			
3	3 感染症発生時に対応できる	<p>① 感染症を疑われる利用者や罹患した利用者に対し、マスクの着用を促す、医療職の指示に従い他の利用者と別室に待機させる等の対応をとったか。② 0.89、③ 0.87、④ 0.85</p> <p>② 速やかに医療職に報告したか。③ 0.90、④ 0.87</p> <p>③ マスク、感染予防着、手袋を着用し対処したか。④ 0.88</p> <p>④ 利用者の状態、感染症発生状況を正確に記録したか。</p>	2②・ 3・4		63.6	53.2	71.3	79.5	75.2	77.9	80.0	20.0	61.1	71.7	69.7	80.6	83.9	○訪問介護では、家族と別室にすることはしない。	<p>2 感染症発生時に対応できる</p> <p>実施状況を見つつ、6か月程度の評価期間をとつても感染症発生時対応を要せず評価できなかった場合は、小項目を評価せず、レベル認定の要件とはしないことも検討</p>	<p>○未実施率が一定程度高いが、重要項目であることを踏まえ存置(インフルエンザやノロウイルス等を想定)。痴等利用者特定の場合は介護過程の展開で評価)。</p> <p>○4つとも相関が高いことを踏まえ、通過率の低い2項目を存置。</p>	
					64.2	52.3	71.6	84.4	81.8	81.1	89.8	26.3	70.6	80.0	79.4	85.2	87.1	—			
					62.4	52.3	69.4	77.0	80.6	84.0	85.9	28.6	70.6	73.5	75.7	87.5	86.7	—			
					64.3	52.9	74.4	76.9	76.8	80.8	73.6	35.7	71.4	66.7	70.1	84.1	84.4	② 利用者の状態、感染症発生状況を正確に記録したか。			

II. 利用者視点での評価

4. 事故発生防止

No.	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率(未実施を除く)				「A」となった被評価者の割合(未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考	
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2①	レベル2②	レベル3	レベル4			
1	ヒヤリハットの視点を持っている	<p>① 「事故には至らなかったがヒヤッとしたこと」「ハッとした気づき」を意識してとり上げ、記録に残すことことができたか。</p> <p>② 記録したヒヤリハット情報について、環境的要因、介護者側の要因、利用者側の要因に分けて分析することができたか。③ 0.87</p> <p>③ ヒヤリハットの対応策(予防策)を講じることができたか。④ 0.88</p> <p>④ 分析した情報について、事業所・施設内の会議で報告する等ケアチームで情報共有し、対応策を継続的に実践することができたか。</p>	2②・3・4	記録確認	31.1	23.5	29.9	50.0	70.7	74.6	68.9	42.6	55.6	54.5	72.3	78.2	85.2		1 ヒヤリハットの視点を持っている	
					39.1	44.3	42.1	52.8	69.8	71.2	72.7	44.0	0.0	0.0	0.0	70.0	70.0	—	①「事故には至らなかったがヒヤッとしたこと」「ハッとした気づき」を意識してとり上げ、記録に残すことができたか。	
					38.7	43.0	42.1	54.7	69.1	73.8	72.7	45.8	0.0	0.0	0.0	68.5	72.0		②ヒヤリハットの対応策(予防策)を講じることができたか。	○相関が高いこと、レベル3以上であればセットで考えてよいのではという意見があったことを踏まえ整理。
					39.5	43.0	45.3	52.8	68.2	70.5	69.2	36.0	0.0	0.0	0.0	67.9	70.0		③分析した情報について、事業所・施設内の会議で報告する等ケアチームで情報共有し、対応策を継続的に実践することができたか(P)。	
2	事故発生時の対応ができる	<p>① 事故発生時の事業所・施設内のルールに従って報告すべき者に対して、事故発生時の状況について、いつ、どこで、誰が、どのように、どうしたを明瞭に伝えることができたか。</p> <p>② 事故の発生原因をつきとめることができたか。③ 0.87</p> <p>③ 事故の再発予防策を講じることができたか。</p> <p>④ 家族に連絡し、発生原因、再発予防策を利用者・家族が理解できるように説明できたか。</p> <p>⑤ 事故の発生から再発予防策までを事業所・施設内外の関係者と共有し、再発防止策を継続的に実践することができたか。</p>	2②・3・4	対応すべき事態が起った場合に現認	51.5	44.3	55.9	67.2	71.4	73.2	74.2	37.5	41.4	61.1	69.1	80.8	91.7		○評価期間を長くしても発生せず、評価できない場合があるのではないか。	○未実施率はそれほど高くないため存置する。
					47.3	37.0	61.1	60.4	64.7	64.7	62.2	42.9	0.0	0.0	0.0	62.1	73.8	—	①事故発生時の事業所・施設内のルールに従って報告すべき者に対して、事故発生時の状況について、いつ、どこで、誰が、どのように、どうしたを明瞭に伝えることができたか。	
					48.9	40.7	61.1	60.4	63.5	65.6	67.6	38.1	0.0	0.0	0.0	58.8	80.0		②事故の再発予防策を講じることができたか。	○1-②・③と同様。
					69.9	68.5	83.2	67.9	63.6	64.7	62.5	47.1	0.0	0.0	0.0	56.9	80.0		③家族に連絡し、発生原因、再発予防策を利用者・家族が理解できるように説明できたか。	
					54.4	50.9	67.4	64.2	67.9	66.0	64.5	47.4	0.0	0.0	0.0	62.4	85.0		④事故の発生から再発予防策までを事業所・施設内外の関係者と共有し、再発防止策を継続的に実践することができたか。	
3	事故報告書を作成できる	<p>① 事故報告書に、5W1Hを明瞭にした発生状況とその対応の記載ができたか。② 0.87</p> <p>② 事故報告書等の関係書類について、個別ケースファイルの所定の場所に文書を保管できたか。</p> <p>③ 保険者に対する報告について、その定める方法・様式に沿って記載することができたか。</p>	3・4	記録確認	48.7	43.5	55.8	64.2	81.9	83.6	83.3	57.9	0.0	0.0	0.0	79.0	94.9		○常勤者でないと報告書の記入は行っておらず、非常勤は評価できない。	
					53.2	49.1	61.1	64.2	81.9	76.4	91.9	57.9	0.0	0.0	0.0	79.7	92.1	—	①事故報告書に、5W1Hを明瞭にした発生状況とその対応を記載ができたか。	○①と相関が高いこと、レベル3以上の能力としては、「記載」まででよいのではないかという意見を踏まえ削除。
					68.7	66.7	81.1	67.9	70.3	69.4	72.2	52.9	0.0	0.0	0.0	67.1	81.5		②保険者に対する報告について、その定める方法・様式に沿って記載することができたか。	

II. 利用者視点での評価

5. 身体拘束廃止

No.	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率(未実施を除く)				「A」となった被評価者の割合(未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考		
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2①	レベル2②	レベル3	レベル4				
1	身体拘束廃止に向けた対応ができる	<p>① 身体拘束に至る背景や原因について、情報を収集・整理し、問題点を明確にすることができたか。</p> <p>② 事故の起きない環境整備ができたか。③ 0.78</p> <p>③ 身体拘束をなくしていくための対応策を提示できたか。④ 0.82</p> <p>④ ケアカンファレンス等を開催し、身体拘束をなくしていくための対応策についてチームメンバーと共にし、対応策が継続的に行われるよう働きかけを行ったか。</p>	3・4	記録確認(必要に応じて被評価者へのヒアリング)	53.2	38.0	58.9	69.8	64.5	67.2	59.0	31.3	0.0	0.0	0.0	61.3	75.7		1 身体拘束廃止に向けた対応ができる		
					45.4	36.1	46.3	66.0	62.4	60.9	56.9	44.4	0.0	0.0	0.0	58.5	76.2	—	①身体拘束に至る背景や原因について、情報を収集・整理し、問題点を明確にすることができたか。		
					52.7	42.6	56.8	69.8	51.8	53.2	41.5	25.0	0.0	0.0	0.0	45.2	71.8		②身体拘束をなくしていくための対応策を提示できたか。	○②と③は統合してもよいのではないかという意見があり、相関が一定程度高いことを踏まえ②を削除。	
					55.2	41.7	61.1	69.8	54.7	54.0	51.4	31.3	0.0	0.0	0.0	49.6	69.2		③ケアカンファレンス等を開催し、身体拘束をなくしていくための対応策についてチームメンバーと共にし、対応策が継続的に行われるよう働きかけを行ったか。		
2	身体拘束を行わざるを得ない場合の手続ができる	<p>【特養・老健・グループホームのみ】緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、事業所・施設内の「身体拘束廃止委員会」において検討する等事業所・施設全体としての判断が行われるような手続きを行ったか。② 0.90</p> <p>【特養・老健・グループホームのみ】緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、利用者及び家族に対して、身体拘束の内容、目的、理由、拘束の時間、時間帯、期間等を説明し、書面で確認をしたか。</p> <p>【特養・老健・グループホームのみ】緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかつた理由を記録したか。</p>	3・4	対応すべき事態が起った場合に現認	80.8	66.7	89.5	0.0	67.8	72.2	80.0	—	0.0	0.0	0.0	57.1	93.3		○福島県では身体拘束ゼロ=全くしていない。	2 身体拘束を行わざるを得ない場合	○身体拘束を全くしていない場合は小項目を評価せず、レベル認定の要件とはしない。
					82.4	69.4	91.6	0.0	70.4	72.7	87.5	—	0.0	0.0	0.0	59.0	100.0		①【特養・老健・グループホームのみ】緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、事業所・施設内の「身体拘束廃止委員会」において検討する等事業所・施設全体としての判断が行われるような手続きを行ったか。		
					76.5	57.4	86.3	0.0	83.3	80.4	92.3	—	0.0	0.0	0.0	77.4	100.0		②【特養・老健・グループホームのみ】緊急やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかつた理由を記録したか。		

II. 利用者視点での評価

6. 緊急時対応

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となつた被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考																																																																									
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4																																																																											
1	緊急性に応じた対応ができる	<p>① 利用者が倒れていた場合、意識、呼吸、脈、顔色を確認したか。②O. 93</p> <p>② 利用者が倒れていた場合、痛みや傷を確認したか。</p> <p>③ 利用者が倒れていた場合、気道を確保したか。</p> <p>④ 利用者が倒れていた場合、毛布等により保温したか。</p>	対応すべき事態が起こった場合に現認(必要に応じ記録確認)	<table border="1"> <tr><td>74.0</td><td>67.1</td><td>84.8</td><td>77.9</td><td>66.8</td><td>74.0</td><td>75.0</td><td>22.2</td><td>45.5</td><td>64.5</td><td>65.0</td><td>71.2</td><td>82.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>74.0</td><td>68.0</td><td>84.8</td><td>77.9</td><td>70.4</td><td>77.5</td><td>81.3</td><td>25.9</td><td>45.5</td><td>77.4</td><td>66.1</td><td>73.1</td><td>87.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>79.7</td><td>75.2</td><td>88.6</td><td>79.5</td><td>45.1</td><td>58.2</td><td>37.5</td><td>16.0</td><td>33.3</td><td>40.0</td><td>33.3</td><td>50.0</td><td>83.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>79.4</td><td>77.4</td><td>88.2</td><td>78.7</td><td>41.9</td><td>56.0</td><td>28.0</td><td>19.2</td><td>20.0</td><td>42.3</td><td>34.6</td><td>42.2</td><td>82.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	74.0	67.1	84.8	77.9	66.8	74.0	75.0	22.2	45.5	64.5	65.0	71.2	82.6							74.0	68.0	84.8	77.9	70.4	77.5	81.3	25.9	45.5	77.4	66.1	73.1	87.0					79.7	75.2	88.6	79.5	45.1	58.2	37.5	16.0	33.3	40.0	33.3	50.0	83.3					79.4	77.4	88.2	78.7	41.9	56.0	28.0	19.2	20.0	42.3	34.6	42.2	82.4					<p>○なかなか想定できない。</p>				-				○未実施率が高いことを踏まえ削除									
74.0	67.1	84.8	77.9	66.8	74.0	75.0	22.2	45.5	64.5	65.0	71.2	82.6																																																																																
74.0	68.0	84.8	77.9	70.4	77.5	81.3	25.9	45.5	77.4	66.1	73.1	87.0																																																																																
79.7	75.2	88.6	79.5	45.1	58.2	37.5	16.0	33.3	40.0	33.3	50.0	83.3																																																																																
79.4	77.4	88.2	78.7	41.9	56.0	28.0	19.2	20.0	42.3	34.6	42.2	82.4																																																																																
<table border="1"> <tr><td>71.8</td><td>64.4</td><td>80.1</td><td>77.0</td><td>70.0</td><td>73.4</td><td>76.2</td><td>39.3</td><td>46.2</td><td>62.5</td><td>64.1</td><td>79.2</td><td>88.9</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>71.2</td><td>63.5</td><td>80.6</td><td>78.7</td><td>69.1</td><td>71.6</td><td>80.5</td><td>34.6</td><td>46.2</td><td>55.6</td><td>69.8</td><td>75.3</td><td>88.9</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				71.8	64.4	80.1	77.0	70.0	73.4	76.2	39.3	46.2	62.5	64.1	79.2	88.9					71.2	63.5	80.6	78.7	69.1	71.6	80.5	34.6	46.2	55.6	69.8	75.3	88.9					<p>○常勤者でないと報告書の記入は行っておらず、非常勤は評価できない。</p>				-				○未実施率が高いことを踏まえ削除																																														
71.8	64.4	80.1	77.0	70.0	73.4	76.2	39.3	46.2	62.5	64.1	79.2	88.9																																																																																
71.2	63.5	80.6	78.7	69.1	71.6	80.5	34.6	46.2	55.6	69.8	75.3	88.9																																																																																
<table border="1"> <tr><td>82.0</td><td>77.4</td><td>88.6</td><td>81.1</td><td>55.6</td><td>58.0</td><td>75.0</td><td>26.1</td><td>20.0</td><td>27.8</td><td>54.8</td><td>61.9</td><td>82.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>81.4</td><td>77.0</td><td>90.0</td><td>80.3</td><td>45.7</td><td>49.0</td><td>76.2</td><td>20.8</td><td>25.0</td><td>25.0</td><td>32.6</td><td>54.3</td><td>78.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				82.0	77.4	88.6	81.1	55.6	58.0	75.0	26.1	20.0	27.8	54.8	61.9	82.6					81.4	77.0	90.0	80.3	45.7	49.0	76.2	20.8	25.0	25.0	32.6	54.3	78.3					<p>○全員が関わるものではなく評価しない(以下同じ)。</p>				-				○未実施率が高いことを踏まえ削除。																																														
82.0	77.4	88.6	81.1	55.6	58.0	75.0	26.1	20.0	27.8	54.8	61.9	82.6																																																																																
81.4	77.0	90.0	80.3	45.7	49.0	76.2	20.8	25.0	25.0	32.6	54.3	78.3																																																																																
<table border="1"> <tr><td>82.0</td><td>77.4</td><td>88.6</td><td>81.1</td><td>55.6</td><td>58.0</td><td>75.0</td><td>26.1</td><td>20.0</td><td>27.8</td><td>54.8</td><td>61.9</td><td>82.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>81.4</td><td>77.0</td><td>90.0</td><td>80.3</td><td>45.7</td><td>49.0</td><td>76.2</td><td>20.8</td><td>25.0</td><td>25.0</td><td>32.6</td><td>54.3</td><td>78.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				82.0	77.4	88.6	81.1	55.6	58.0	75.0	26.1	20.0	27.8	54.8	61.9	82.6					81.4	77.0	90.0	80.3	45.7	49.0	76.2	20.8	25.0	25.0	32.6	54.3	78.3					<p>○全員が関わるものではなく評価しない(以下同じ)。</p>				-				○未実施率が高いことを踏まえ削除。																																														
82.0	77.4	88.6	81.1	55.6	58.0	75.0	26.1	20.0	27.8	54.8	61.9	82.6																																																																																
81.4	77.0	90.0	80.3	45.7	49.0	76.2	20.8	25.0	25.0	32.6	54.3	78.3																																																																																

II. 利用者視点での評価

7. 終末期ケア

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となつた被評価者の割合 (未実施を除く)				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	実施状況も見つつ、6か月程度の評価期間をとつても終末期ケアを行う機会がなく評価できなかつた場合は、小項目等を評価せず、レベル認定の要件とはしないことも検討。	備考																																																							
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4																																																										
1	終末期の利用者や家族の状況を把握できる	<p>① 利用者のADL、余命、告知・無告知の把握をしているか。</p> <p>② 利用者・家族の看取りの場所の希望について把握をしているか。</p> <p>③ 利用者の自己決定や家族の希望を最大限尊重しているか。</p>	3・4 対応すべき事態が起こった場合に現認(必要に応じ記録確認)	<table border="1"> <tr><td>67.0</td><td>52.7</td><td>73.0</td><td>80.3</td><td>61.7</td><td>67.6</td><td>61.4</td><td>41.7</td><td>47.1</td><td>47.7</td><td>54.2</td><td>73.3</td><td>77.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.5</td><td>49.1</td><td>73.5</td><td>82.0</td><td>59.5</td><td>61.9</td><td>67.9</td><td>31.8</td><td>35.3</td><td>48.8</td><td>50.0</td><td>72.2</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.2</td><td>49.1</td><td>73.9</td><td>82.0</td><td>59.1</td><td>63.7</td><td>54.5</td><td>36.4</td><td>43.8</td><td>37.2</td><td>52.6</td><td>73.1</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1								66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0					66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0					<p>○全員が関わるものではなく評価しない(以下同じ)。</p>				1 終末期の利用者や家族の状況を把握できる				○レベル1でもチームの一員としては関わることがあると思われるが、能力評価としてはレベル3以上とする。								
67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1																																																															
66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0																																																															
66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0																																																															
<table border="1"> <tr><td>67.0</td><td>52.7</td><td>73.0</td><td>80.3</td><td>61.7</td><td>67.6</td><td>61.4</td><td>41.7</td><td>47.1</td><td>47.7</td><td>54.2</td><td>73.3</td><td>77.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.5</td><td>49.1</td><td>73.5</td><td>82.0</td><td>59.5</td><td>61.9</td><td>67.9</td><td>31.8</td><td>35.3</td><td>48.8</td><td>50.0</td><td>72.2</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.2</td><td>49.1</td><td>73.9</td><td>82.0</td><td>59.1</td><td>63.7</td><td>54.5</td><td>36.4</td><td>43.8</td><td>37.2</td><td>52.6</td><td>73.1</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>					67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1					66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0					66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0					<p>○全員が関わるものではなく評価しない(以下同じ)。</p>				①利用者のADL、余命、告知・無告知の把握をしているか。															
67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1																																																															
66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0																																																															
66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0																																																															
<table border="1"> <tr><td>67.0</td><td>52.7</td><td>73.0</td><td>80.3</td><td>61.7</td><td>67.6</td><td>61.4</td><td>41.7</td><td>47.1</td><td>47.7</td><td>54.2</td><td>73.3</td><td>77.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.5</td><td>49.1</td><td>73.5</td><td>82.0</td><td>59.5</td><td>61.9</td><td>67.9</td><td>31.8</td><td>35.3</td><td>48.8</td><td>50.0</td><td>72.2</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.2</td><td>49.1</td><td>73.9</td><td>82.0</td><td>59.1</td><td>63.7</td><td>54.5</td><td>36.4</td><td>43.8</td><td>37.2</td><td>52.6</td><td>73.1</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>					67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1					66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0					66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0					<p>○全員が関わるものではなく評価しない(以下同じ)。</p>				②利用者・家族の看取りの場所の希望について把握をしているか。															
67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1																																																															
66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0																																																															
66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0																																																															
<table border="1"> <tr><td>67.0</td><td>52.7</td><td>73.0</td><td>80.3</td><td>61.7</td><td>67.6</td><td>61.4</td><td>41.7</td><td>47.1</td><td>47.7</td><td>54.2</td><td>73.3</td><td>77.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.5</td><td>49.1</td><td>73.5</td><td>82.0</td><td>59.5</td><td>61.9</td><td>67.9</td><td>31.8</td><td>35.3</td><td>48.8</td><td>50.0</td><td>72.2</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>66.2</td><td>49.1</td><td>73.9</td><td>82.0</td><td>59.1</td><td>63.7</td><td>54.5</td><td>36.4</td><td>43.8</td><td>37.2</td><td>52.6</td><td>73.1</td><td>75.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>					67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1					66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0					66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0					<p>○全員が関わるものではなく評価しない</p>																			
67.0	52.7	73.0	80.3	61.7	67.6	61.4	41.7	47.1	47.7	54.2	73.3	77.1																																																															
66.5	49.1	73.5	82.0	59.5	61.9	67.9	31.8	35.3	48.8	50.0	72.2	75.0																																																															
66.2	49.1	73.9	82.0	59.1	63.7	54.5	36.4	43.8	37.2	52.6	73.1	75.0																																																															

○未実施率70%以上、通過率90%以上の項目は濃い網掛け
○「チェック項目の原案」欄内の青字は、相関が高い(0.85以上)項目及びその相関係数

III. 地域包括ケアシステム＆リーダーシップ

1 地域包括ケアシステム

No.	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率 (未実施を除く)				「A」となつた被評価者の割合				チェック項目の修正案	備考
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2 ①	レベル2 ②	レベル3	レベル4	
1	地域内の社会資源との情報共有																	未実施率が相当程度高いことから、地域包括ケアを行う機会がなく評価できなかった場合は、小項目等を評価せず、レベル認定の要件とはしない方向で検討する。
	① 関連する関係機関で情報共有を図るため、利用者にサービスを提供したときに進捗状況や結果を関連する他の機関に提供しているか。		4	期末までにヒアリング	68.7	67.1	80.1	57.4	38.6	32.9	42.9	42.3	21.4	27.3	10.9	45.6	66.7	①関連する関係機関で情報共有を図るために、利用者にサービスを提供したときに進捗状況や結果を関連する他の機関に提供しているか。
	② 利用者がどんな制度、資源、サービスを利用しているか把握しているか。 ③0.85				54.7	60.8	64.8	30.3	31.4	24.1	23.0	51.8	3.7	22.2	26.0	33.1	59.3	②利用者がどんな制度、資源、サービスを利用しているか把握しているか。
	③ サービスの実施に必要な知識や情報を、関係する他の機関等(知人、団体、住民組織等を含む)から集めているか。				73.2	73.9	82.0	62.5	26.8	21.1	32.4	35.6	13.3	22.6	7.1	33.8	45.0	③サービスの実施に必要な知識や情報を、関係する他の機関等(知人、団体、住民組織等を含む)から集めているか。
2	地域内の社会資源との業務協力																	2 地域内の社会資源との業務協力
	① 利用者等からの相談や問題状況を基に、関係する他の部門や関係する他の機関に必要とされるサービスを文書化して提案しているかどうか。		4	評価期間中に記録確認	77.7	81.5	78.8	67.9	33.5	25.6	55.8	22.2	30.8	28.0	23.8	31.8	51.5	①利用者等からの相談や問題状況を基に、関係する他の部門や関係する他の機関に必要とされるサービスを文書化して提案しているかどうか。
	② 関連する他の機関(知人、団体、住民組織等を含む)に協力を要請するか。				82.6	85.0	88.7	73.2	17.7	12.5	17.4	26.7	10.0	5.6	0.0	20.0	35.5	②関連する他の機関(知人、団体、住民組織等を含む)に協力を要請するか。
	削除 ③ 関連する他の機関から(知人、団体、住民組織等を含む)協力を要請されるか。				82.8	83.6	90.4	75.2	11.5	11.4	0.0	17.9	0.0	0.0	0.0	10.5	32.1	—
3	地域内の関係職種との交流																	3 地域内の関係職種との交流
	① 自分と関連する専門職の集まりだけでなく、他の職種・専門職との集まり(会議)にも参加しているか。		4	期末までにヒアリング	71.3	66.7	81.4	67.2	37.5	52.7	20.5	40.0	17.6	20.0	28.6	42.9	58.1	①自分と関連する専門職の集まりだけでなく、他の職種・専門職との集まり(会議、懇親会)にも参加しているか。
	削除 ② 関連する他の機関(団体、住民組織等を含む)に属する者から、その者やその機関が提供する介護業務やその実態に関する内容を聞いているか。				77.6	80.1	85.3	67.2	18.9	13.6	6.5	35.0	0.0	8.7	2.6	16.7	51.4	—
	③ 関連する他の機関にどういう専門職がいるか、把握しているか。				64.5	64.4	71.0	57.4	31.5	38.0	31.1	30.8	8.3	17.9	22.8	35.4	60.5	②関連する他の機関にどういう専門職がいるか、把握しているか。
	④ 事例検討会等の説明会への参加を同僚に呼び掛けているか。				78.2	82.0	80.1	75.2	14.6	15.0	9.5	26.7	0.0	0.0	11.8	9.1	36.4	—
	削除 ⑤ 関連する他の機関(団体、住民組織等を含む)や他の職種との懇親会に参加するか。				81.5	83.3	86.3	81.1	15.1	8.1	13.8	21.7	0.0	0.0	3.0	14.3	44.8	—
	⑥ 新規の専門職が就任した場合、ネットワークづくりのため、関連する他の機関(住民組織を含む)へのあいさつ回り、関連する他の機関との会合への出席等を行っているか。				85.0	86.0	89.6	81.1	12.4	6.5	4.5	26.1	0.0	5.9	0.0	5.6	36.4	—
4	地域包括ケアの管理業務																	4 地域包括ケアの管理業務
	削除 ① 複数の関連する他の機関(住民組織を含む)が参加した会議等において、自分の判断で一定の費用負担を決定しているか。 ②0.93		4	期末までにヒアリング	89.5	87.6	92.3	94.1	5.1	3.7	12.5	14.3	0.0	6.3	0.0	3.3	28.6	—
	② 自分の属する機関又は自らの提供する介護業務の内容について、関連する他の機関(住民組織を含む)に資料・文書で情報提供しているか。 ③0.86			記録確認	86.2	86.8	91.9	79.7	13.6	3.4	11.8	37.5	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	①自分の属する機関又は自らの提供する介護業務の内容について、関連する他の機関(住民組織を含む)に資料・文書で情報提供しているか
	③ 複数の関連する他の機関(住民組織を含む)専門職で集めた利用者の情報をセンターとして、もしくはチームとして適正に管理・提供しているか。				84.0	84.1	88.5	82.2	26.9	28.6	20.8	38.1	0.0	10.5	21.7	18.9	56.7	②複数の関連する他の機関(住民組織を含む)専門職で集めた利用者の情報をセンターとして、もしくはチームとして適正に管理・提供しているか。

III. 地域包括ケアシステム＆リーダーシップ

2 リーダーシップ

No	小項目	チェック項目の原案	レベル感	評価方法	未実施率				通過率(未実施を除く)				「A」となった被評価者の割合				アセッサー等の意見	チェック項目の修正案	備考	
					全体	特養	老健	訪問介	全体	特養	老健	訪問介	レベル1	レベル2①	レベル2②	レベル3	レベル4			
1	現場で適切な技術指導ができる	<p>① 個々のスキルや仕事に対する取組みの意識を把握し、スタッフのレベルやキャリア・プランに応じて育成計画を立案して指導しているか。</p> <p>② 介護の現場で、スタッフのスキルや利用者とのコミュニケーションの取り方等について、具体的な指導・助言を行っているか。</p> <p>③ 利用者の不信感やスタッフのモチベーションの低下を招かないように、介護の現場でスタッフに指導・助言を行う場合は、利用者の面前でスタッフを注意したり叱ったりせず、後で声を掛けるなどしているか。</p> <p>④ スタッフに指導した後には、振り返りを行ない、スタッフの疑問の解消や注意すべき点等について確認しているか。</p> <p>⑤ 自己のスキルアップのために、研修を受講する等により研鑽しているか。</p>	4	<p>日頃の対応を観察(必要に応じて記録確認、被評価者へのヒアリング)</p> <p>日頃の対応を観察(必要に応じて被評価者へのヒアリング)</p> <p>ヒアリング</p>	19.5	26.1	12.5	17.4	36.4	23.5	35.7	57.9	0.0	0.0	0.5	0.7	28.4		①個々のスキルや仕事に対する取組みの意識を把握し、スタッフのレベルやキャリア・プランに応じて育成計画を立案して指導しているか。	
					6.1	4.3	6.3	13.0	55.8	63.6	46.7	65.0	0.0	0.0	0.0	0.7	51.9		②介護の現場で、スタッフのスキルや利用者とのコミュニケーションの取り方等について、具体的な指導・助言を行っているか。	
					3.7	4.3	0.0	8.7	65.8	72.7	56.3	76.2	0.0	0.0	0.0	0.7	63.0		③利用者の不信感やスタッフのモチベーションの低下を招かないように、介護の現場でスタッフに指導・助言を行う場合は、利用者の面前でスタッフを注意したり叱ったりせず、後で声を掛けるなどしているか。	
					4.9	4.3	6.3	8.7	52.6	45.5	53.3	52.4	0.0	0.0	0.0	0.7	49.4		④スタッフに指導した後には、振り返りを行ない、スタッフの疑問の解消や注意すべき点等について確認しているか。	
					13.4	13.0	25.0	13.0	70.4	75.0	75.0	65.0	0.0	0.0	0.0	0.7	60.5		⑤自己のスキルアップのために、研修を受講する等により研鑽しているか。	
2	ローテーション(シフト)を組むことができる	<p>① スタッフの休暇予定を把握し、誤り無くローテーション(シフト)を組むことができるか。②0.87</p> <p>② 利用者のキャンセルやスタッフの欠勤等が生じた場合、遅滞なく、ローテーション(シフト)の変更を行っているか。</p>	4	<p>日頃の対応を観察(必要に応じて被評価者へのヒアリング)</p>	31.7	34.8	37.5	21.7	66.1	86.7	80.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.7	44.4	○ローテーションは施設長が組んでいる。	—	○特定の役職の者しか行わない施設があるが、重要項目であることから、残す。ただし、小項目にチェック項目1つとなることから、小項目3に統合。
					15.9	13.0	12.5	17.4	79.7	100.0	78.6	73.7	0.0	0.0	0.0	0.7	66.7		—	
3	部下の業務支援を適切に行っている	<p>① 事業所・施設内において、研修、勉強会、ミーティング、ケース会議等を定期的に開催しているか。</p> <p>② 各スタッフとの面談の機会をつくり、スタッフの要望や悩みを聞き取り、把握・助言をしているか。</p> <p>③ 事業所・施設内外の研修、勉強会等について、個別に声を掛ける等してスタッフに参加させているか。</p> <p>④ スタッフの体調を把握するために声かけや観察を行なっているか。</p>	4	<p>日頃の対応を観察(必要に応じて被評価者へのヒアリング)</p> <p>記録確認(必要に応じて被評価者へのヒアリング)</p> <p>日頃の対応を観察(必要に応じて被評価者へのヒアリング)</p>													② 部下の業務支援を適切に行っている		施設において、特定の役職者しか行っておらず評価ができない場合は小項目評価の要件としない。	
					13.4	4.3	18.8	21.7	73.2	72.7	69.2	72.2	0.0	0.0	0.0	0.7	63.0		①スタッフの休暇予定や利用者のキャンセルを把握し、誤り無くローテーション(シフト)を組むことができるか。	
					18.3	13.0	25.0	21.7	59.7	60.0	41.7	61.1	0.0	0.0	0.0	0.7	48.1		②事業所・施設内において、研修、勉強会、ミーティング、ケース会議等を定期的に開催しているか。	
					18.3	8.7	25.0	26.1	44.8	52.4	25.0	47.1	0.0	0.0	0.0	0.7	35.8		③各スタッフとの面談の機会をつくり、スタッフの要望や悩みを聞き取り、把握・助言をしているか。	
					11.0	4.3	12.5	26.1	75.3	81.8	64.3	76.5	0.0	0.0	0.0	0.7	66.7		④事業所・施設内外の研修、勉強会等について、個別に声を掛ける等してスタッフに参加させているか。	
4	評価者として適切に評価できる	<p>① 評価者講習を受けたか。</p> <p>② 期首にスタッフと面談の機会を持ち、スタッフの希望する目標、上司として期待する目標を相互に確認した上で、スタッフとともにその期の目標を設定しているか。③0.97 ③0.89</p> <p>削除 ③ 期末にスタッフとの面談を行い、目標に対するスタッフの自己評価を踏まえた上で評価しているか。</p> <p>④ 自己の利益や好みによらず、客観的評価基準に基づきスタッフを評価できているか。</p>	4	<p>記録確認(必要に応じて被評価者へのヒアリング)</p> <p>日頃の対応を観察(必要に応じて被評価者へのヒアリング)</p>	72.0	69.6	81.3	65.2	52.2	100.0	66.7	25.0	0.0	0.0	1.0	0.0	14.8	—	③ 評価者として適切に評価できる	○当面はチェック項目としない。
					56.1	52.2	62.5	56.5	41.7	54.5	50.0	40.0	0.0	0.0	1.0	0.0	18.5		①期首にスタッフと面談の機会を持ち、スタッフの希望する目標、上司として期待する目標を相互に確認した上で、スタッフとともにその期の目標を設定しているか。	
					61.0	56.5	68.8	60.9	43.8	60.0	60.0	33.3	0.0	0.0	1.0	0.0	17.3			
					52.4	43.5	56.3	56.5	71.8	92.3	71.4	60.0	0.0	0.0	1.5	0.0	34.6		②自己の利益や好みによらず、客観的評価基準に基づきスタッフを評価できているか。	